

## 一般会計

### 歳入 170億3777万円

### 歳出 163億8770万円

平成19年度鶴ヶ島市一般会計決算は、9月定例会において設置した決算特別委員会に付託され、9月3日、4日の2日間にわたり審査されました。

また、特別会計決算5議案については、所管の常任委員会に付託され、審査されました。

委員会での審査結果は、いずれも「認定すべきもの」で、最終日の本会議において採決の結果、認定されました。

#### 地方交付税

Q 頑張る地方応援プログラムの歳入金額と内容は、

A 財政課長 特別交付税では、安心・安全なまちづくりとして学校の耐震補強及び関越自動車道の跨道橋整備、また、少子化対策として学童保育室の整備について申請をした結果、2250万円の採択がなされたものである。

#### 延滞金

Q 内容について。

A 収納対策課長 各税の納期限が過ぎると、その翌日から一定の割合で計算し徴収するもので、現年度分として380万4061円、滞納繰越分として7123万4855円であった。

#### 学校給食費

Q 収入未済の状況は。

A 学校給食センター所長 給食費の収入未済額は、現年度分が177万7077円、過年度分が293万9960円で、年々増えている状況である。

今後、学校、教育委員会、学校給食センターで情報交換会を開催し、意見交換等を行いながら対応策を考えていきたい。  
※収入未済：歳入として調定した徴収金等が、当該年度の出納閉鎖

期日までに納入されなかったもの。

#### 放置自転車売却代金

Q 内容について。

A 安心安全推進課長 自転車放置防止条例に基づき、撤去した自転車で、返還できない自転車をリサイクル自転車小売商組合に1台2000円で売却している。  
また、リサイクルできず、使用できない自転車については、別途処分している。

#### 学校給食食材経費



地場産野菜で給食づくり

Q 1食あたりの給食単価は。

A 学校給食センター所長 小学校は1食213円88銭、中学校は251円42銭である。

Q 冷凍食品、加工食品の使用状況は。

A 学校給食センター所長 ほうれん草等一部の野菜では冷凍食品を、魚類は骨等があるため、加工食品を使用している。  
また、本市では、地産地消を奨

励しているため、平成19年度は3683・1割の地場産物を使用している。

#### 乳幼児医療費助成事業

Q 支給額が減少している理由は、

A ことも支援課長 乳幼児数が減少していることに伴い、受給者数と支給件数が減ったものである。

Q この事業の今後について。

A ことも支援課長 現在本市では、乳幼児医療費助成に対する所得制限や自己負担はない。今後も、このまま継続していきたいと考えている。

※「乳幼児医療費」は、20年4月から「こども医療費」に変わりました。

#### ごみ戸別収集サービス

Q 要望があった場合はすべて対応しているのか。

A 高齢者福祉課長 家庭から排出されるごみを、所定の集積所まで持っていくことが困難な場合に行っているもので、対象は、要支援1から要介護5までの認定者で、ひとり世帯または家族全員が高齢者や障害者等の場合となっている。

そのため、申し出があった場合には、該当になるか確認をして対応しているところで、19年度は、13世帯が対象となったものである。

#### 特別会計

#### 国民健康保険

Q 繰入金について。

A 保険年金課長 一般会計から法定繰入金として約1億4700万円のほか、財源不足のため法定外繰入金として3億1000万円の財源援助が行われている。

Q 1人あたりの医療費について。

A 保険年金課長 一般医療費で0歳から74歳までが、17万6970円、退職者医療費で60歳から74歳までが、33万7202円で、埼玉県内40市の中では一番低い。

#### 老人保健

Q 老人医療費給付費について。

A 保険年金課長 現在公費負担は5割であり、支払基金負担分が14億4818万4363円、国庫負担分が8億1492万5207円、県負担分が2億373万1300円、市負担分が2億373万1307円である。

#### 介護保険

Q 介護給付費の給付実績は事業計画どおりであったか。

A 高齢者福祉課長 19年度は、事業計画が約17億7000万円、給付実績が約16億9900万円であったため、執行率は95・